



畜舎の清掃・消毒をしましょう

国内では昨年9月に岐阜県で豚コレラが発生し、今年6月以降も岐阜・愛知県で国内25～27例目の発生が確認されています。

またアジア地域では、アフリカ豚コレラ、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の発生も継続しており、国内及び農場への家畜伝染病の病原体の侵入リスクが極めて高い状況です。

家畜飼養者の皆様におかれましては、農場への病原体の侵入防止と疾病予防のため、定期的に畜舎の清掃・消毒を行い、衛生管理区域を清潔に保ちましょう。

畜舎の清掃・消毒の作業手順

1 畜舎内の整理整頓・清掃

2 水洗・消毒薬による消毒

糞が残っていると消毒効果が薄れるので、しっかりと除去した後に、消毒薬を使用する。

3 乾燥

大部分の微生物を死滅させることができます。

4 石灰乳塗布

アルカリ作用により殺菌効果を発揮し、畜舎内が清潔になります。

特にドロマイト石灰はきめ細かく作業効率が向上します。



*特に、牛を放牧して空になった牛舎は、清掃・消毒のチャンスです。秋にはきれいな牛舎で、牛を迎えてあげましょう。

衛生管理区域の消毒

1 出入りする車両の消毒



消毒ポンプによる消毒



消石灰による石灰帯

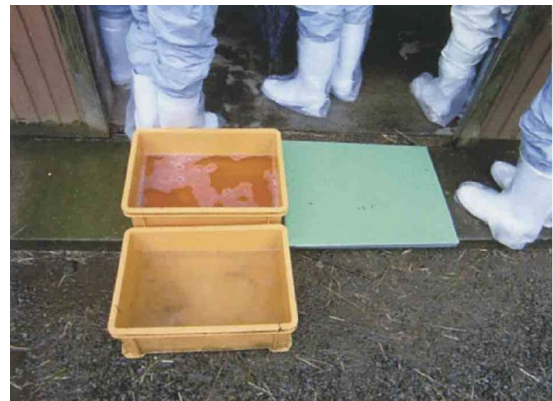


消毒ゲート

2 出入りする者の手指の洗浄・消毒及び靴の消毒



手指洗浄・消毒スペース



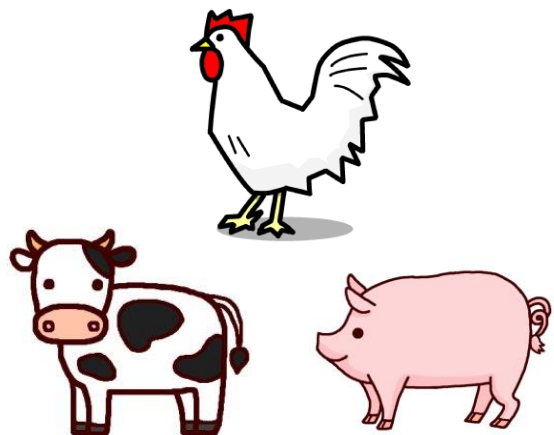
靴の洗浄・踏込消毒槽

3 記録を作成し少なくとも1年間は保存

- (1) 立ち入った者に関する記録
- (2) 家畜の導入・出荷又は移動に関する記録
- (3) 家畜の異常に関する記録



立入記録表



家畜伝染病を疑う異状が見られたら、ただちに

青森家畜保健衛生所 にご連絡ください

電話:017-764-1744

夜間・休日:090-2274-0474